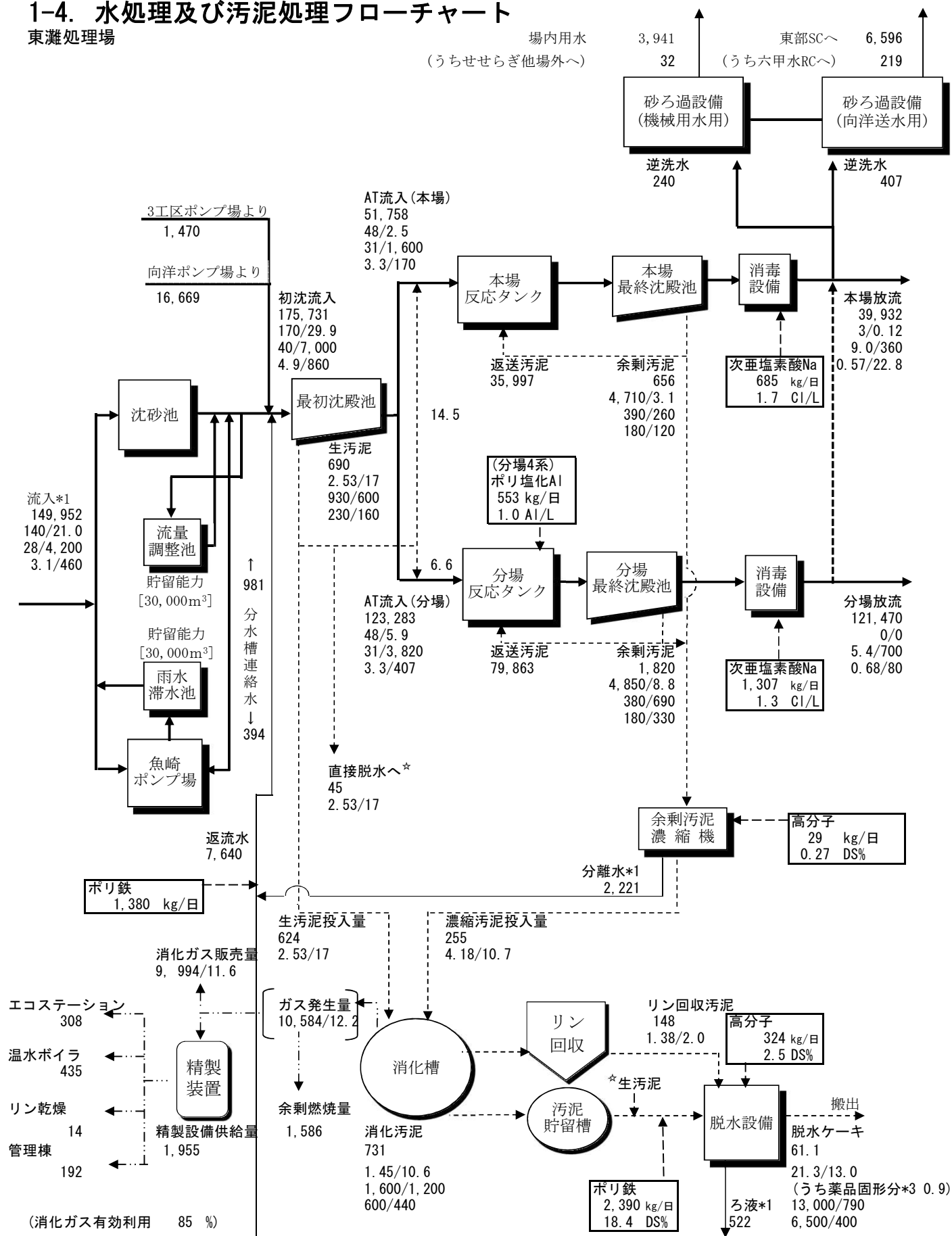


# 1-4. 水処理及び汚泥処理フローチャート

東灘処理場



\*1は、差し引き計算

\*2は、精製前消化ガス試験成績のメタン及び二酸化炭素より計算

\*3は、ポリ硫酸第二鉄の鉄含有率を13%とし、水酸化鉄として計算  
ポリ塩化アルミニウムのアルミニウム含有率は水酸化アルミニウム含有率を10%とし、リン酸アルミニウムとして計算  
脱水用高分子凝集剤はそのまま計算

凡例

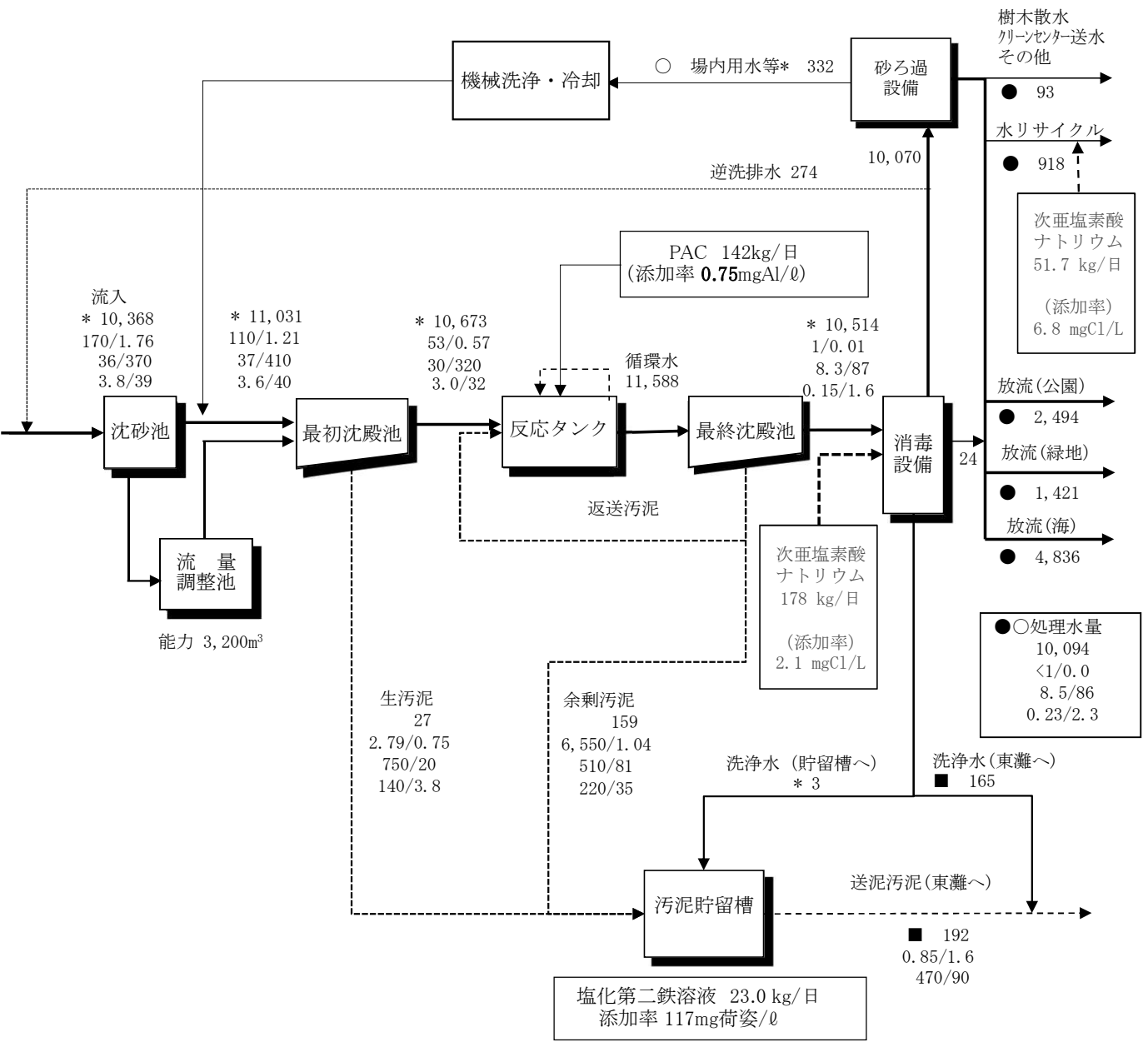
水量(流量) [m³/日]

SS[mg/L or %]/固形物量[t/日]

T-N[mg/L or mg/kg-wet]/窒素量[kg/日]

T-P[mg/L or mg/kg-wet]/りん量[kg/日]

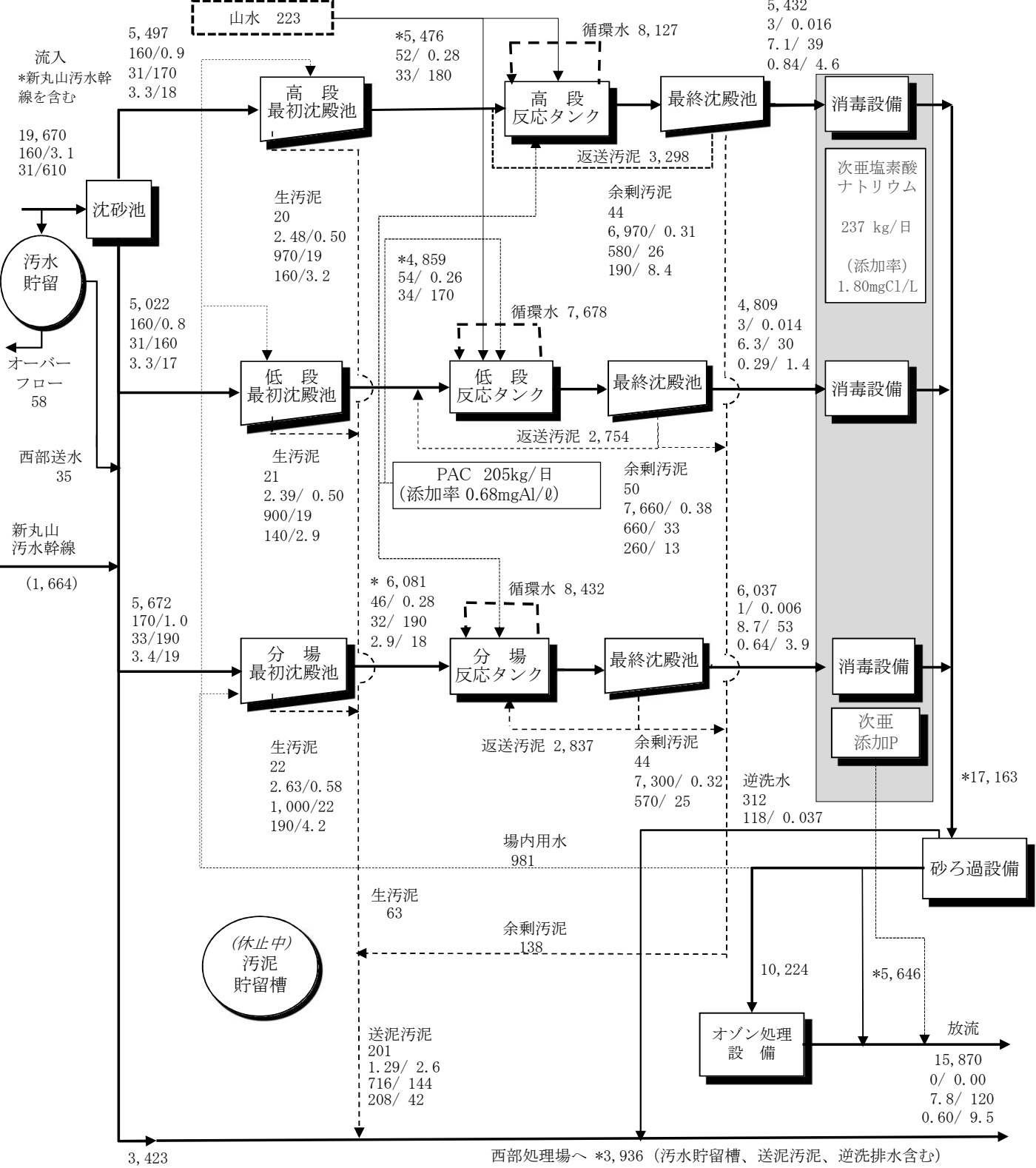
2-4. 水処理及び汚泥処理フローチャート  
ポートアイランド処理場 (R06)



\*は、計算による値

凡例  
水量 (流量) [m³/日]  
SS[mg/L or %]/固形物量[t/日]  
T-N[mg/L or mg/kg-wet]/窒素量[kg/日]  
T-P[mg/L or mg/kg-wet]/りん量[kg/日]

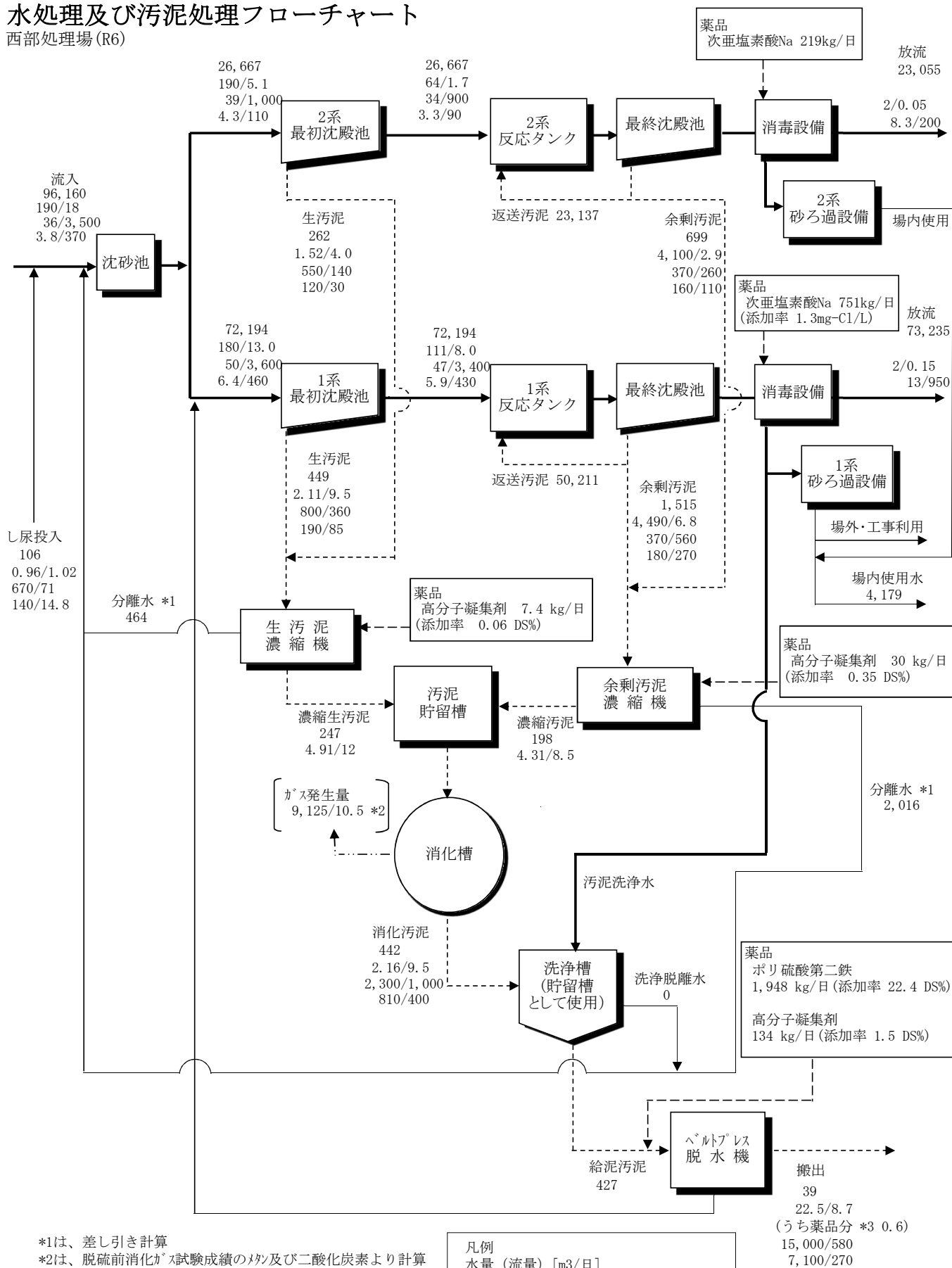
2-4. 水処理及び汚泥処理フローチャート  
鈴蘭台処理場 (R06)



凡例  
水量 (流量) [m3/日]  
SS[mg/L or %]/固形物量[t/日]  
T-N[mg/L or mg/kg-wet]/窒素量[kg/日]  
T-P[mg/L or mg/kg-wet]/りん量[kg/日]

# 水処理及び汚泥処理フローチャート

西部処理場 (R6)



\*1は、差し引き計算

\*2は、脱硫前消化ガス試験成績のメタン及び二酸化炭素より計算

\*3は、ポリ硫酸第二鉄の鉄含有率を13%とし、水酸化鉄として計算し、高分子凝集剤はそのまま計算

凡例

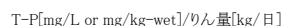
水量 (流量) [m3/日]

SS[mg/L or %]/固形物量[t/日]

T-N[mg/L or mg/kg-wet]/窒素量[kg/日]

T-P[mg/L or mg/kg-wet]/りん量[kg/日]

## 垂水処理場



品分※3 1.00)

## 玉津処理場(R06)

流入  
70,927  
200/14.2  
33/2,300  
4.1/290

沈砂池

調整池

最初沈殿池

生汚泥  
486  
1.58/7.7  
760/370  
180/87

1系 反応タンク

38,465

1系 最終沈殿池

37,841  
1.00/0.038  
12/450  
1.1/40

返送汚泥 23,755

余剰汚泥  
624  
4,890/3.1  
410/260  
180/112

2-2系 反応タンク

34,966

2-2系

返送汚泥 22,309

余剰汚泥  
509  
4,620/2.4  
380/190  
170/87

混合（生+余剰）汚泥  
1,619

濃縮機

濃縮汚泥  
278  
4.40/12.2

混合汚泥槽

消化槽

汚泥貯留槽

脱水機

搬出  
28.6  
18.9/5.4  
(うち薬品分\*3 0.40)  
13,000/370  
5,200/150

消毒設備

砂ろ過設備

放流  
72,298  
<1/0  
11/800  
1.1/80

薬品  
高分子凝集剤  
(濃縮使用量)21.6 kg/日  
添加率(0.18 DS%)

薬品  
次亜塩素酸ナトリウム溶液  
612 kg/日  
添加率(1.02 mg-Cl/L)

薬品  
ポリ硫酸第二鉄  
(脱水使用量)1100 kg/日(添加率 20.4 %)  
高分子凝集剤  
(脱水使用量)128 kg/日(添加率 2.4 %)

薬品  
ポリ硫酸第二鉄 (使用量)  
217 kg/日

ろ液 \*1  
274

分離水 \*1  
1,341

返流水  
1,615

\*1は、差し引き計算  
\*2は、脱硫前消化ガス試験成績の値及び二酸化炭素より計算

日例

\*5は、業務報告の場合内機械用水・雑用水から求めた値

凡例  
水量（流量）[m<sup>3</sup>/日]  
SS[mg/L or %]/固形物量[t/日]  
T-N[mg/L or mg/kg-wet]/窒素量[kg/日]  
T-P[mg/L or mg/kg-wet]/りん量[kg/日]

## 東部スラッジセンター(R06)

